

謹賀



西条市議会議長
榎 学

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、平成24年の初春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は市議会の活動に對しまして、皆様方の多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、我が国の社会経済情勢は、ギリシャに端を発した欧州債務危機や原油価格の高騰、新興国のインフレ懸念等の影響を受け、急速な円高や株価の低迷、雇用情勢の悪化など厳しい状況が続いております。

このような中、当市におきましては、未来都市モデルプロジェクト「西条農業革新都市」の事業推進をはじめ、産業振興を主軸とする種々の政策を展開し、着実に市勢の進展を見ておりますもの、まだまだ解決すべき課題も、あり、議会と議員が果たすべき役割や責務の重要性は、ますます増大してきております。

議会といたしましても、特に、新庁舎の建設、水に関する問題、重点港湾に選定された東予港の港湾整備については、それぞれ特別委員会を設置し、執行部と一丸となって鋭意審議を重ねるとともに、昨年11月には、市が取り組むべき課題やその解決に向けた政策等について、会派別に理事者に対し提言を行うなど、市議会の更なる活性化に向け、新たな取り組みも行うところでありま。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の大規模災害として被災地のみならず、私

たち国民一人一人の心の中にも大きなつめ跡を残しました。復興への道のりは険しいものがありますが、この困難な事態に際しては、その直後から市内全域より救援物資や義援金、ボランティア等、温かい支援の手がさしのべられ、人と人、地域と地域、心と心の絆がいかに強いものであるかを改めて認識する機会となりました。この絆は先人のかたがたにより今日まで長い時をかけて結び、育んでこられたものであり、この絆こそが私たちがふるさと西条の最大の財産だと思っております。

本年の議会運営を担うにあたり、この絆を大切にし、市民の皆様の議会として常に皆様の声に耳を傾けながら、議会の果たす役割を自覚し、安全・安心なまちづくりをめざして最善の努力をして参る所存でありますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、この一年が市民の皆様にとりましてご健勝で幸多き年となりますようお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新年のお慶びを申し上げます

平成二十四年元旦

西条市議会議員一同